



ROF-CV06H Pro Light Japan



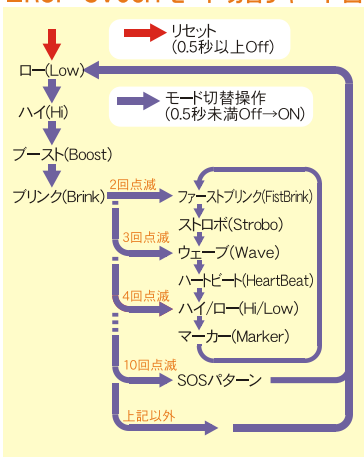
ROF-factory 2007.05.



★使い方★

- スイッチをONにすると最初のモード(Lo)で点灯します。
- スイッチのON/OFFを0.5秒以内に行くと次のモードに切り替わります。
- 約0.5秒以上オフにすると次の点灯は最初のLoモードからスタートします。
- モードの切り替えは Lo→Hi→Boost→BLK と進み、BLKモードの次はLoモードに戻ります。

■ROF-CV06H モード切替チャート図



★はじめに★

ROF-CV06HはOSRAM社のOSTAR® E2A(4チップドーム無し)対応バッテリー電圧のワイドレンジ化(4V~9V)を行った調光式昇圧DC/DCコンバータです。

その他

手作業による製作のため、機能上は問題ありませんが外観仕上げの状態にムラなどがあります事をご了承ください。



★仕様★

使用LED : OSTAR® LEW E2A MY 7L
Tj Max 150°C
Flux typical 210-240(700mA時)

使用電池 : CR123A × 3 or RCR123 × 2 + ダミー電池
or 150A × 2 or
Li-Ion 充電電池 18500 × 2 (安全のためプロテクト付きをお使いください。)
標準出力 : Low 30mA (±10%)
High 200mA (±10%)
Boost 800mA (+12%)

※使用バッテリーやコンバータの個体差により上記程度の範囲でバラツキがあります。バッテリー消耗までの間は各モードの照度はほぼ一定値に制御されます。
※電源電圧が10.5Vを超えて入力された場合、調光不可になります。



★保護機能について★

- コンバータ基板のジャンパーをショートする事で、入力電圧が5Vを切るとシャットダウンします。
- Eagle3はノーマルではテール側がプラスとなりますが、OSTAR® MODではヘッド側がプラスとなります。コンバータ自体がEagleに特化して製作していますので、仮に電池を逆挿入してもコンバータは破損しません(保護回路内蔵)。
- 温度監視による照度自動調整により、コンバータ温度が80°Cを越えると照度を半分に落とします。一定時間後まだ80°C以上なら更に半分となり照度が自動的に上下します。

★注意事項★

+側がヘッドになるように電池を挿入して下さい。EAGLE-3本来の電池の向きでは点灯しません。

OSTAR® 用リフレクタはスターの切り欠きに嵌る固定タイプなので、Eagle3のヘッドは分解しないでください。したがって焦点調整はできませんのでヘッドは絶対に回転させないでください。

注意 ※必ずお読みください。

警告 CAUTION

絶対に光源(LED)を直接見ないで下さい。また光源を人間又は動物の眼に直接向けしないで下さい。(眼を直接照射しない) なお、眼を直接照射、及び光源を直視して眼に障害がおきた場合、制作者及び販売者は責任を持ってません。ブリンクやストロボモードにおいて、光源を直接見たり暗い所で照射対象を見ることにより光過敏性発作を引き起こす可能性があります。使用される方はこれらのモードでは(基本的に)人に向けないことと、ご自身の状態にも注意するようにしてください。

注意 ATTENTION

市販のライトに改造を行いますと、メーカー保証を受けることができなくなります。また、不注意によりライトや部品を壊したり、怪我・事故などが起きる可能性があります。

その他の注意

- 小さな部品がありますので誤って飲み込まないようにご注意ください。窒息などの危険があります。
- 充電電池を使用する場合は充電器などの説明書に従って正しく使用してください。
- 止むを得ず尖った形状の部品がありますので、誤って目や皮膚を刺さないようにご注意ください。
- 小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。

■お問合せ: ホームページ: <http://www.pro-light.jp/>

e-mail: support@pro-light.jp

